

国語

第1問 問5 (iii)

文章に明示されていない内容を推論する設問で、各学力層で差がついた

問5 Aさんは授業で「文章Ⅰ」と「文章Ⅱ」を読み、授業後に課されたグループ発表の準備として、自分の考えをノートにまとめ、さらに、一緒に発表を行うメンバーと話し合いをした。次の「フリート」はAさんが書いたノートの一部であり、「話し合いの様子」はメンバーとの話し合いの一部である。これについて、後の(i)～(iii)の問いに答えよ。

【話し合いの様子】

Aさん——「文章Ⅰ」は「科学的説明」では理解しきれない事柄について「物語的説明」が求められると言ひ、「文章Ⅱ」は「科学」の有効性が限定的なものであることに注意を促している。どちらも、「科学的説明」の限界や問題点について述べていると言えるね。

Bさん——そうだね。そもそも、「文章Ⅱ」で挙げられている「男は人の話を聞かないが女は地図が読めない」といった「主張」は、本当に「科学」と言えるのかな。何だか怪しげな気がするけど……。

Cさん——「文章Ⅰ」の題目からすると、科学の方法にそぐわない領域に科学をあてはめようとしているから無理がある、というふうにも言えそうだね。だけど、こういった「主張」は世の中にあふれていて、私たちは安易に信じてしまいがちだよ。どうしてだろう。

Dさん——Z そんなふうに、「科学的説明」が、「現実制約作用」を持つ「物語」のように働いてしまうことがあるんだと思う。

Aさん——なるほど。そういったものに飛びついてしまわないよう注意する必要があるね。

(iii) 空欄 Z に入る最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答書用紙は 11。

- ① 本来の科学は特定の関心や価値判断から離れて研究するもので、「男は人の話を……」といった「主張」はそれとは正反対のものだよ。だけど多くの人はそれに気づかず、本当に「科学的」なものだと信じてしまうんだろうね。
- ② 人間の生きる世界は、多くのできあいの物語とわずかな新しい物語によってできているんだよ。科学的な説明は、ありかたの物語とは違う新しい知見を教えてくれるから、人々に強い印象を与えるんじゃないかという気がする。
- ③ ③ 現実の人間や出来事はそれぞれに違いがあつて、とても複雑で多様なものだよ。その一つ一つに向き合つてそのつど考えるよりも、単純化した一般的な見方をあてはめてわかつたつもりになる方が来たっていうことじゃないかな。
- ④ 科学的説明は必ずしもそれが絶対的な真理だと主張するものではなくて、理論的に導き出された一つの仮説だよ。でも、それが社会で広く信じられるようになると、人々は実際にその通り行動するようになってしまうんだと思う。

第1問 問5 (iii)

正解率	34.3%
SS65～70	61.2%
SS60～65	50.5%
SS55～60	42.3%
SS50～55	35.2%
SS45～50	28.6%
SS45未満	20.9%

2022年度第3回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「国語」

受験者数:	261,304人
平均点:	108.1点
標準偏差:	32.5

国語

第1問 問5 (iii)

文章に明示されていない内容を推論する設問で、各学力層で差がついた

結果分析

第1問・問5 (iii)では、生徒のグループ活動の場面が設定され、生徒同士の【話し合いの様子】に設けられた空欄に当てはまる内容が問われました。【話し合いの様子】では、【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】で「科学的説明」の限界や問題点に触れていることが述べられた後、【文章Ⅱ】の論旨を踏まえて【文章Ⅰ】でも【文章Ⅱ】でも取り上げられていない新たな疑問が提起されています。空欄はその直後にあり、空欄を「そんなふうに」と受けていることから、空欄には【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】の内容を理解したうえで、空欄直前の疑問に答えた内容、かつ、空欄直後と同じ内容が入ることがわかるかどうか問われています。偏差値60以上で差がつく結果となりました。

指導のご提案

共通テストでは、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた複数の題材による出題が見込まれます。このような問題では、それぞれの文章の論旨をきちんと捉えたうえで、設問の指示に沿う形で情報を取り出したり関連づけたりすることが求められます。今回は文章に明示されていない内容を推論することが求められていたので、類題の演習に取り組んで解答の際の着眼点をおさえておきましょう。